

にけーしよん

10/1 どんごサッカー大会 フォトコンテスト公開審査会

篠山小学校体育館で、写真家で二科会写真部会員の原田政草さん(宇和島市)と犬飼恵俊さん(同)を審査員に招き、「第21回県境篠山騒動どんごサッカー大会フォトコンテスト」公開審査会が行われました。県内外の写真愛好家71名から寄せられた188点の作品から、厳正な審査の結果、入賞作品17点が選ばれました。

【審査結果は次のとおりです。
なお、最優秀・優秀・特選・町内入賞者のみ掲載】

- 最優秀賞 「争奪戦」 清家光江(宇和島市)
- 優秀賞 「あふれるパワー」 吉田秀子(新居浜市)
- 特選 「この一撃!」 山本健太郎(松山市)
- 特選 「闘魂」 森 敏弘(四万十市)
- 入選 「小さなサポーター達」 濱本秀雄(船越)



10/8~9 愛南町ご当地グルメが準グランプリ!

宇和島市の「きさいやロード」で、愛媛県主催の「南予グルメ選手権2011」が行われ、南予の10市町から45団体が参加し、「美味しいご当地グルメ、一番」を競い合いました。

本町からは5団体が参加し、準グランプリに「黒潮海閣」の愛南かつお丼、特別賞のサークルKサンクス賞に「お食事どころ なにわ」の愛南海鮮焼き(ヒオウギ貝・イカ・たびエビ)が、それぞれ入賞しました。このほか、「愛南フーズ」の由良チャンポン・由良の媛っこ地鶏・愛南ドッグ、「焼肉おおにし」の愛南和牛バーベキューが参加し、好調な売れ行きでした。

また、同イベントでは、船越小学校児童が扮する「タイレッド」「ヒジキブラック」、そして「愛南愛あい大使」も参加し、「美味しいですよ!」と愛南町の「食」を精一杯PRしました。



山本真代さん(左) 小島優里さん(右)



▶左から
清水鼓哲くん(タイレッド)、鈴木ももさん、吉田晃流くん、吉田彩乃さん(ヒジキブラック)、吉田風果さん。以上、船越小学校児童の皆さん



愛南こみゆ

(CUT) 9/12 髪ボランティア2011

9月19日の「敬老の日」を前に、南宇和理容美容組合(吉村則男代表)の有志の皆さんが、地域社会への貢献活動の一つとして町内6か所の老人福祉施設の入所者を対象に、恒例のカットボランティアを行いました。

【参加された方々、敬称略】

山本安宅、久徳耕一、円城寺正敏、本多計章、宮本節子、二宮千香、大西加代子、岩井安美、宇都宮悦、宇都宮典子、河人総子、山口ふさ美、菊池高幸、吉田浩史、高橋祐樹、鎌田順子、宇都宮睦子、福留浩子、山本淳子、平田真衣子、稲田りえ、谷口ヒロ子、吉村則男、幸田達人、山中知雄、松本久也、立花昌実、橋本スズ子、船平丘子、藪下勝美、藤堂雅代



9/15・10/8 想いを真珠に込めて!パールジュエリーデザインコンテスト



9/15 最終審査



10/8 表彰式



最優秀賞「おでかけ♪」

DE・あ・い・21で「第15回パールジュエリー・デザインコンテスト」が開催され、国内はもとより、韓国や台湾、遠くは南アフリカ共和国など海外を含む257名から、311点の応募がありました。9月15日に行われた最終審査で、最優秀賞に蕪澤久美子さん(愛知県)のブローチ「おでかけ♪」が選ばれ、小学生の部では山口優花さん(一本松小)、中学生の部では武田梓歩さん(城辺中)の作品が、それぞれ第1位に選ばれました。そのほか、優秀賞2点、特選3点など、合計80点が入賞しました。

10月8日には表彰式が行われ、一般の部11名、小学生の部3名、中学生の部3名が出席し、賞状と記念品が贈られました。表彰式の後、出席者は真珠養殖場の見学や、郷土料理を囲んだ交流会などに参加し、美しい海に囲まれた真珠貝のふるさと愛南町を満喫しました。



うみびより 本日!海日和!! 「かわいい子には、手を出すな」

4月に生まれた稚魚たちも、11月になると、ずいぶん成長しています。この中で、かわいさNo1というと、ミナミハコフグでしょう。

黄色い体を水玉模様で着飾った姿は、ハッピーキューブの愛称があります。小さなひれをパタパタしながらクルクル回る姿を見ていると、本当に幸せな気分になってきます。泳ぎが下手で、こんなに目立っては、すぐに大きな魚に見つかって食べられてしまうと心配する人がいるかもしれません。

でも、大丈夫。実は危険を感じると、体の表面から毒を出すという、必殺技をもっているのです。目立つ色や模様には「毒に注意。食べると死ぬよ。」と知らせる役割があると考えられています。これを「警告色」といい、スズメバチやナナホシテントウが有名です。

私たちが見るとかわいいと感じるミナミハコフグの模様にも、厳しい自然を生き抜くための大切な役割があるのです。

(ミナミハコフグの幼魚 須ノ川 水深3m 2011.8.30) 環境省自然公園指導員 西尾知照